



桐

K

I

R

I

目黒学院高等学校同窓会事務局

〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50

電話 03-3711-6556

編集発行人 会長 市川 康 憲

URL <https://www.meguro.ac.jp/Kiri/>

令和4年度同窓会総会のご案内 本年開催いたします！

本来であれば、令和3年が総会の開催年でした。しかしながら、新型コロナウイルスの蔓延により開催を断念せざるを得ませんでした。同窓生からは、「今年は総会を開催する年ですが開催しないのですか」等のご連絡もいただきました。そこで本年に入り、数回にわたる役員会の中で検討した結果、母校をお借りして小規模でも開催すべきとの結論に至りました。従って、従来の総会及び懇親会とは異なり、コンパクトに総会を中心とした短時間の開催といたします。

以下に開催概要とご注意点を記載いたしますので、ご了承ご協力をお願い申し上げます。

【親子二代卒業生への記念品贈呈】

親子二代の卒業生の皆様は、通常の総会同様ご招待申し上げ、総会席上にてご出席された方に、学校と同窓会から記念品を贈呈させていただきます。

該当される親子二代卒業生には、別途、ご案内を差し上げますので、同封の出欠ハガキにて、参加の有無をご連絡下さい。

【学校見学会】

「学校見学会」は、母校で総会を行う事から行いませんのでご了承ください。

記

◆日 時 令和4年7月23日（土）午後2時開会

◆会 場 目黒学院3号館1階小ホール

（右記画像参照）

※道路を挟んで本館向かいの右手

◆参加費 なし

◆参加申し込み

同窓会ホームページの「お問い合わせ・ご意見フォーム」から、「**2022年総会 出席**」と記載し、ご連絡下さい。

<https://www.meguro.ac.jp/Kiri/>



令和3年度会務報告



同窓会会長

いち かわ やす のり
市 川 康 憲

(昭和42年3月卒)

卒業生の皆様におかれましては、学業に或いは社会人としてご活躍のこととお慶びを申し上げます。

現役でご活躍されている方々の一方で、私を初め団塊の世代が75歳という節目を迎える時代となりました。

全ての卒業生並びに学校関係者の皆様におかれましては、健康第一でお過ごし頂きますよう心より祈念いたしております。

さて、近年の社会状況は思いもしない方向へと進んでまいりました。その一つが新型コロナウイルス問題です。第一波、第二波と波を繰り返しながら現在に至りますが、この間に数種類の変異を繰り返して、益々感染力が強まっていると指摘されています。世界の感染者数は、2億人を越えたことも報道されました。我が国においては既にワクチン接種は3回目となり、4回目の接種も検討され始めています。一日も早い終息を願わずにはいられません。

自然災害も起きており、多数の被害が報道されました。静岡・熱海での大規模土石流、ドイツなどでの豪雨災害、大規模地震による被害も、日本のみに止まらず世界各地で起きているようです。

そして特筆すべきは、世界が「分断」という方向に動き始めたということではないでしょうか。ロシアとウクライナ問題は象徴的な事例ですが、アメリカ大統領選挙に見られた国民間の分断、ミャンマーでの軍事クーデター、スーダンでも軍事クーデターが起きており心配の種は尽きません。

私たちを元気にしてくれる明るいニュースも、色々ありました。本校のラグビーフットボール部を筆頭に、各クラブの活躍を校内の広報版で見かけますが、頼もしい限りです。

その他報道では、大谷翔平さんがメジャーMVPに、将棋の藤井聡太さんが新竜王最年少5冠(5月現在)に、ゴルフの松山英樹さんがマスターズに優勝するなどの活躍が報じられましたが、何といても東京オリンピックで、史上最多の58個のメダルを獲得したことでしょうか。

本校の卒業生の中から、世界を理想の方向に変え行く

人材が、続々と出て来ることを願っております。

関口理事長・校長先生初め教職員の皆様には、日頃の同窓会活動へのご協力に感謝を申し上げますとともに、今後ともお力添えの程何卒宜しくお願いを申し上げます。

昨年度の同窓会活動について、具体的にご報告いたします。

まず、本来であれば同窓会総会・懇親会を開催する年度でございましたが、コロナ禍ということから開催を延期すべきではとの役員会で意見があり、3年ごとの開催が4年目の本年開催となりました。詳細については、別途記載させていただきます。従いまして、同窓会報「桐」の編集・発行が主な活動でありました。役員会も開催日時を設定しては中止せざるを得ない事が多く、「桐」の編集・発行が予定通り進める事ができず、7月の発行となりました。こうした集まって打ち合わせが出来ないことが今後もあり得ることを想定し、ZOOMによる打ち合わせが出来るよう、昨年3月3日(水)の夜にテストオンライン会議を開催いたしました。今後は、役員会や「桐」の編集会議に集う事ができない場合は、オンラインを活用しながら基本日程に沿った同窓会活動を推進してまいります。

本年の卒業生お一人おひとりには、例年同様の電波置時計を卒業記念品として贈呈させていただきました。賛助会費納入のご協力を頂いております会員の皆様には、心から感謝と御礼を申し上げます。

本年の卒業生は337名ですので、同窓生の総数は31,573名となります。

同窓会活動への参加者を随時募集しております。2か月に1回程度、本校会議室において役員会及び「桐」の編集委員会を開催しております。女性、男性ともにお手伝い頂ける同窓生を探しております。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



挨拶と学校の動向



理事長・校長

せき ぐち たか し
関 口 隆 司

男女共学11年目となりました令和3年度は、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の拡大で様々な活動に制限が加えられました。現在は非常事態宣言等は解除されておりますが、東京都内では毎日数千人の新規感染者が出ている状況です。同窓生の皆様のご健康を心から祈念しております。

本年4月の新入生は、中学生18名、高校生321名（一貫コース内部進学生を含む）となりました。中学生の新入生のうち女子は2名、高校生の新入生のうち女子は過半の168名となっております。卒業生の皆様におかれましては、何卒引き続き「新生・目黒学院」へのご支援とご協力を賜りたいと願っております。以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

1. 学校行事等

令和3年度は、前年度のような分散登校は実施しませんでした。9月には時程を1時間早めて（7時30分登校）の時差登校を実施しました。大きな行事では、入学式は各家庭の保護者1名のみ参加可能とし、体育祭は駒沢球技場の収容人数制限により、1・2年生と3年生を分けて実施しました（一貫コースは6学年同時に実施できました）。一方、昨年度と同様に、各種海外研修旅行、オープンキャンパス、芸術鑑賞、梧林祭を中止とせざるを得ませんでした。高校2年生の沖縄修学旅行は時期を11月に延期、日程を3泊4日に短縮して実施、大きな体調不良者や怪我人を出すことなく帰京できました。また、卒業式はコースによって午前・午後の2部制とし、内容を簡略化して実施いたしました。

2. 教職員の異動

副校長の佐藤正子先生が退任され、新たに渡邊宏一先生が副校長に就任しました。また、中学校教頭の本間金栄先生が退任され、山口正幸先生が後任の教頭に就任しました。本間先生は令和4年度は嘱託として授業を担当されております。専任講師の栗原茂先生が退任され、鈴木憲章先生が定年退職されました。鈴木先生は引き続き専任講師として教鞭をおとりいただいております。ま

た、非常勤講師の吉田絵理先生（国語）を常勤講師にお迎えしたほか、新任の西山一貴先生（保健体育）を常勤講師にお迎えしました。

現在の専任教員数は63名（専任講師・常勤講師を含む）、専任職員数は11名（カウンセラーを含む）となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ラグビーフットボール部、空手道部、水泳部、女子バスケットボール部でした。ご承知の通りラグビー部は全国大会東京都予選決勝で東京高校に勝利し、2年連続で花園出場を果たしました。花園は無観客試合ではありましたが、2試合に勝利してベスト16となりました。昨年に引き続き多くの同窓生の皆様からご寄付を賜りましたこと、まことにありがたく厚く御礼を申し上げます。また、令和4年度は4月に空手道部が女子団体型で全国大会に出場しております。

4. 大学進学状況

本校のホームページに大学進学実績を掲載しております。今年は一橋大学、北海道大学、お茶の水女子大学をはじめ国公立大学に7名の合格者を出したほか、早慶上理12名、GMARCHにも昨年とほぼ同数の合格者を出すことができました。生徒の大半が大学進学希望であることは変わらず、志望進路実現のために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の生徒を今後も育てていきたいと考えております。

5. その他

令和3年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、8名に対して維持費の全額免除を行いました。規程に基づき維持費を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。



OB 紹介



ふじ い しげる
藤 井 茂
(昭和46年3月卒)

私が目黒高等学校機械科に入学したのは、昭和43年4月のことです。現在、機械科はなくなりましたが、当時はブルーカラー全盛の時代で、高校進学でも技術を身につけることが重要視される時代でした。

私の家でも「手に職をつける」ことが、生きていくうえで重要であることを、子供の頃から言われていたことが進学への動機であったように思います。

今振り返ると高校時代は、大変速いスピードで過ぎていきました。3年になり今後の進路について考えることになった時、自分はこの仕事に向いているだろうか、と考えるようになりました。

そんな時、姉が『あなたは料理が好きなことから栄養士の道に進んではどうか』と言ったのです。担任の青木先生にも相談し、栄養専門学校に入学しました。学校での2年間は、かつてないほど充実した時間を過ごし、卒業後は教員として母校に就職し、その後20年間、学生教育に没頭しました。理論は自信をもって教えることができましたが、もっと実務面のスキルを高め現場で即戦力となる学生を育てたいと思うようになり、40歳で転職し、総合病院の栄養科を包括的に管理する責任者として、12年間キャリアを積みました。

52歳になったとき、短期大学の栄養士養成校で教員のお話をいただき、再度教育の場に戻りました。この時、管理栄養士としての仕事を栄養面だけでなくもっと広く、深く考えたとき食事と健康・経済のかかわりは切り離しては考えられないことに気づき、56歳で大学に入学し経済学を学びました。今、食事と健康・経済の関係は非常に重要であることを学生の講義に生かしています。

66歳で大学教授を退職し、今年70歳を迎えますが、現在は大学及び短期大学の非常勤講師として、講義、実習を担当して現役を継続中です。

私は小・中・高とあまり目立つ存在ではなく、おとなしかったと思います。

機械科から栄養士の道へと舵を切ったことで、人生が変わりました。『好きこそものの上手なれ』と自分の好きなことに集中して、一生懸命努力することにより、沢山の先輩や友人が応援してくれたからこそ今があると思

います。これからも栄養士、管理栄養士の学生教育に力を注いでいきたいと思っています。

OB 紹介



うめ き ひで お
梅 木 英 雄
(昭和37年3月卒)

〈プロフィール〉

株式会社 ピュアコーポレーション代表取締役

目黒高校（当時）機械科卒業

現在、相鉄線鶴ヶ峰駅北口すぐ近くのスーパー三和の一角で店舗を構える。

〇陸上部キャプテンとして、母校初の快挙を挙げられたと伺いました。

私が高校3年の時、インターハイ全国大会で800メートルリレーに挑戦。のちに東京オリンピックに出場した飯島選手と共に寺下、飯島、平野、梅木（私）の4名で走り、大会新記録で優勝。大和田先生が監督で、先生のアパートに、4、5人で合宿させて頂きました。皆様の協力を得て勝ち取った誇りある思い出です。

〇お仕事は何をされていたのですか？

大学進学後、身体を壊し中退。母校の恩師、小松先生が知り合いの‘車のガラス曇り止め剤’の立ち上げたばかりのメーカーを紹介してくださり、就職することができました。まだ、ホームセンターがない時代でしたので、ガソリンスタンドへ商品を置いて貰うことが仕事でした。

先が見えない中、‘同行販売’と言って問屋さんと一緒に出張先からその先の出張先へと。北海道から沖縄まで全国を駆け巡り、物流ラインを作りあげました。その結果、何処へ行っても売り上げの数字が倍々と延びて行きました。仕事の合間に各地の名所も見ることができ本当に楽しかった。

社内の有名大学出身者には、“負ける訳には行かない”と部下と共に、数年をかけ知名度のある商品へと実績を残すことができました。

○現在の店舗（ピュアコーポレーション）を構えたきっかけは？

長く東京を離れ地方での生活を終え、55歳の時に関東に戻りました。

その後、早期退職。60歳ぐらいに“このまま、ダラダラ生きていくのは嫌だから、今以上にがんばろう”と一念奮起。会社員時代、営業で訪れていたホームセンターで見かけていた、合鍵・靴の修理店に興味を持ちはじめ、知人の力を借りて店舗で技術を学び独立することができました。その後、相鉄線、鶴ヶ峰駅近くのヨーカードー（現・スーパー三和）に店舗を開業しました。

家族は、妻と子供二人の4人家族でしたが、娘を癌で若くして亡くしてしまいました。波乱万丈の人生でありました。



○最後に同窓会の後輩の方々に励ましのメッセージをお聞かせください。

人生、チャンスは結構あるんです。いかにチャンスを掴むか。みんな逃している人が多いと思います。仕事はやっぱり探求心をもって自ら進んで、何でも当たってみよう。そして、友達を沢山作ることです。

いまだに陸上部OBは、毎年20名くらいで集まっています。

あっという間に50年、60年経ちました。この店の周りでも店を閉めるところが多くあります。私は自分でやっているから気が楽です。今、79歳になりますが「仕事があっていいですね」と言われます。いろんなお客さんと会話しながら、時には人生相談も。ボケ防止でお客様にお役に立てればと思って頑張っております。

○貴重なお話、誠にありがとうございました。

（聞き手 小林隆 加藤明宏）

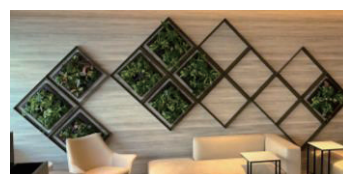


本物の植物で壁面緑化

〈次世代の土〉で気軽に緑を楽しみませんか

土に代わる新素材〈パフカル〉
清潔で、軽くて、こぼれない。
本物の植物を気軽に楽しめます。

お部屋の窓際に
ピン1本で掛けられます



リビングの壁面に
※無料でお見積り致します



みどりの葉奏音(ハート)

国内唯一の「パフカル」を
使用した観葉植物の専門店

【日本橋高島屋S.C.店(新館3F)】

東京都中央区日本橋2-5-1
TEL: 03-3516-0810 (※弊社直営店)

壁面緑化やパフカル、
写真の商品を実際に
見て・触って頂けます。

オンライン
ショップ

<https://midorinoheart.jp>



空気をコントロールする

株式会社ダイアン・サービス

〒152-0001 東京都目黒区中央町1-3-2

ダイアン目黒ビル1階

TEL: 03-5734-1700 FAX: 03-5734-1770

顧問: 市川康憲
(昭和42年卒業)

No.20220026

母校クラブ紹介①

第101回全国高等学校 ラグビーフットボール大会報告 トンガ王国火山噴火における報告



監督

ラグビーフットボール部

たけ うち けい すけ
竹 内 圭 介

みなさまの応援のもと、2年連続20回目の全国大会出場となりました2021年。2020年に出場したときから、必ず連続出場することを合言葉に、チームスローガン『前進』を掲げて2021年をスタートしました。新型コロナウイルスの影響は、2021年になっても残り、1月に行われるはずだった東京都新人戦、2月の関東新人大会は中止となりました。また8月には部員が新型コロナに感染。夏合宿を中止。不安で迎えた東京都予選をスタッフの努力、選手の頑張りで全国大会連続出場を果たすことができました。



第101回全国大会は現定数有観客開催となり、前回よりは少し緩和され限定ではありながらも保護者の見学ができた開催でした。12月28日の1回戦から登場し山形県代表の山形中央高校に40-3で勝利し、12月30日の2回戦は長野県代表の飯田高校に38-0で勝利。2021年のスローガンであった『前進』を達成。そして、高校ラグビー界における一つの夢である【正月を花園で】も達成することができました。私が監督になった1年目の第97回全国大会以来の正月越えとなりました。



1月1日の3回戦では2021年春の全国選抜大会の覇者、福岡県代表の東福岡高校と激突。立ち上がり早々、FW自慢のモールでトライを取りましたが、その後は徐々に地力の差が出て、12-67で敗退しました。最後まで王者に食らいつく試合でした。キャプテンCTB新澤迅太を中心にFWをHO小泉柊人とPR宗形神羽、PR有山翔、LO川嶋凌太、FLシオネ・ポルテレ、No.8森山海宇オスティンの3年生達が支え、BKをSO幸内良真、SH林星安、CTB平地ニック、WTB平地ケン、竹本侑士が支えました。リザーブとして出場した3年生、登録メンバーに入ることができなかった3年生、27名の3年生が2021年のチームをベスト16まで連れて行ってくれました。2022年は、『前進』したチームをさらに越える『飛翔』をスローガンとして始まっております。

ピッチに立った者、立てなかった者、全ての部員がこれからの人生を歩む上できっと良い経験であり、活かしてもらいたいと思います。何かを成し遂げる「覚悟」を持ち、全ての人や環境に「感謝」し、目黒学院の生徒であったことに「誇り」を持って、人生を進んでいってほ



しいと思います。

もう一つ、報告させていただくがございます。2022年1月に起きましたトンガ王国沖、海底火山の噴火は、甚大な被害をトンガ王国にもたらしたことです。当初、5日間は連絡も取れず、本校在校生やOBにも連絡を取っていましたが、やはりトンガへの家族には連絡が取れませんでした。ようやく5日が過ぎた頃から連絡が取れるようになりました。幸いにして本校関係者には大きな被害を受けた家族はありませんでした。そこで、本校としては在校生による義援金を募集しました。総額80万円が集まり、その義援金を在日トンガ大使館へ寄付、またラグビー部としてはタカイ バレイ氏（現在、横川電機在職）が行っていたトンガカレッジ（本校に入学した全生徒の出身校）への義援金を募集し、竹内からタカイ氏に直接20万円渡すことができました。また、この義援金はCampfireというクラウドファンディングへの直接の支援も多数の方が協力してくれました。皆様からのたくさんのご協力、本当にありがとうございました。



3月25日学校にてタカイ氏（左） 竹内（右）

現在のトンガ王国は一部の地域を除いて、ほぼ全域が復旧しています。電気、水道、インターネットなどのインフラも元に戻っていると聞いております。

4月14日には新型コロナによる日本国内への外国人受け入れ制限の影響で、1年遅れで留学生の来日も果たしました。2年E組テネフ シオネ君。そして4月28日には2か月遅れで1年H組アフォ ディビッド君も来日します。目黒学院とトンガカレッジの交流も少しずつ元に戻ってきております。

母校クラブ紹介②

◆美術部◆



美術部
顧問 友寄 影 滋
とも より けい し

美術部は令和3年1月に同好会から部に昇格しました。アニメやマンガなどの絵を描くことが好きな部員や、美術が好きでデッサン練習をしている部員など、幅広く取り組んでいます。絵を描くと言えば「紙とペン」で描く時代から、タブレットなどでデジタルの絵を描く時代となっています。そしてその描き方は、教わったものではなく独学で勉強しています。たくさんの部員の中から、部長の3年生掛川遥菜から美術部を紹介してもらいます。



「美術部部長の掛川です。」

美術部は、放課後を中心に活動しています。静物デッサン、彫刻作成、油絵、写真、イラストなど、美術に関連している様々な事ができる部活です。色々なことができる部活なので、放課後になにかやってみたい人は気軽に入って欲しいです。



美術部の特徴は、大きく3つあります。

1. 技術力が向上する

部活動として日々続けることで、高校生活中に高められる技術は多くあります。中でも、美術部での活動は特技や趣味として高めていけるものが多いです。美術部に入ることで、高めた技術は美術の授業で生かすことも出来ます。

2. 発表の機会がたくさんある

美術部門のコンテストは、全国で頻繁に行われています。そのため、作品の発表の機会が多く、功績として残すことが出来ます。また、児童館での展示に参加することや校内展示も考えているため、多くの人に作品をみてもらえる部活です。

3. キャリアにつながる

美術で得る技術は、多くの職業に繋がっています。

近代、様々な技術が進化している社会では、広告デザイン、アニメーション、イラストレーターなどの美術を中心とした職業の需要が高まっています。美術部は、これらの職業に1歩踏みだすきっかけになると思います。

美術部は、“個性と感受性を伸ばせる部活”です。多様性を知りお互いの個性を認め合うこと。

解答のない社会で自ら答えを導き出すこと。これらに重きを置き“美術って楽しいな”と、改めて感じる部活が美術部です。

また、菱川賞運営委員会主催の絵画・写真コンクール「第7回菱川賞」で『優秀賞』に選出された「2年生小川紗采」のコメントです。

「このような賞をいただけるとは思っていませんでしたので、お知らせを受けた時大変驚きました。顧問や美術科の先生にご指導していただいたので、感謝を伝えたいです。

絵を描き始めて一年、どうしたら上手くなれるのか考える日々はとても楽しく、有意義な時間を過ごせました。これから絵を描くにあたってなかなか思うように描けない時期があったり、様々な壁に阻まれるかもしれませんが、好きの気持ちを忘れずに精進していきたいと思っています。」



「第7回菱川賞、優秀賞」受賞 『鮮魚』

新しく発足した部活ではなく、長く歴史のある部活ですが、新しいことに常に挑戦し続ける部活です。これからも応援よろしくお願いします。



◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

小 林	毅 彦 (父)	昭和56年3月卒
	知 敬 (子息)	令和4年3月卒
宮 田	士 (父)	平成元年3月卒
	佳 尚 (子息)	令和4年3月卒
山 本	雄 二 (父)	昭和61年3月卒
	静 也 (子息)	令和4年3月卒
渡 辺	保 (父)	昭和62年3月卒
	健士朗 (子息)	令和4年3月卒



編集委員の◆ひとり言◆



こ ばやし たかし
小 林 隆
(昭和44年3月卒)

同窓会会報の編集を担当している小林です。毎年のことながら、会報の原稿集め、依頼には大変、苦勞しております。本号では、原稿の割り付けを行い、各頁のレイアウトを行ったところ、若干、原稿が足らず、苦肉の策として私自身が最近、感じることを思いつくままに、綴ってみました。

「向こう三軒両隣」。自宅の周りの方々を、一番に信頼し大切にすることが大事と思い、日々、率先して“あいさつ”を心掛けています。

私が住む地域では、近年、若い方たちが引越しされて来て子供が増え、にぎやかになっています。皆さんとお付き合いを深められるよう、我が家で実る「夏ミカン」をお配りしたり、桜の木を植え、今では咲き誇る季節の夜には、ライトアップして楽しんでいただいています。



地元町会では、私が「消火隊長」、妻が「ミニポンプ隊長」として活動しています。

今は、コロナ禍で様々な行事が思うように進みませんが、なるべく若い方たちの意見に耳を傾けて、尊重するように心がけています。



自分の意見を語り伝えることは、勇気がいります。でも、その行動は、自分を成長させるために必要なことと強く思っています。

この2年間、コロナ禍で思うように人と会えない経験をしました。これからも怠ることなく、感染には十分注意し、ワクチン接種、消毒、手洗いの徹底、そして三つの「密」、「密閉、密集、密接」を避けていくことで、乗り切っていけると思います。

私は、本年5月をもって定年となり、マンションの管理員の職を退きます。マンションの数名の小学生の女の子と、話をするのがいつも楽しみでした。退職にあたり「いつも笑顔であいさつしてくれて有難う」と、手紙をくれました。感謝と思いもよらなかった言葉に、驚きと感激です。

これからも色々な方との出会いがあると思いますが、お一人おひとりに誠実に向き合っていきたいと思っています。

第三、第四とも言えるこれからの人生を、しっかりと見つめつつ挑戦するとともに、知人、友人の健康を祈って行きたいと思っています。



2021年度決算報告

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
同 窓 会 費	3,164,700	3,164,700	@300×10,549ヶ月
入 会 金	606,000	606,000	303名分
賛 助 会 費	500,000	639,000	184名分
総 会 会 費	0		
寄 付 金	0		
雑 収 入	20,000	20,157	会報掲載広告代及び預金利息
当 期 収 入 合 計	4,290,700	4,429,857	
前 年 度 繰 越 金	9,456,358	9,456,358	
収 入 合 計	13,747,058	13,886,215	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
総 会 会 費	0	0	
行 事 費	0	0	
通 信 費	0	0	
雑 費	0	0	
会 議 費	55,000	7,391	
役 員 会 費	30,000	7,391	出席者お茶代等
委 員 会 費	5,000	0	
通 信 費	20,000	0	
補 助 費	370,000	345,000	
部・同好会補助	340,000	345,000	在校生部活動補助
文 化 祭 補 助	30,000	0	
事 務 費	345,000	199,590	
人 件 費	180,000	155,000	役員費及び交通費
事 務 消 耗 品 費	25,000	7,760	プリンタインク代
交 際 費	100,000	3,600	
雑 費	40,000	33,230	賛助会費等振込手数料・郵送料
会 報 費	2,006,000	1,878,048	
会報「桐」印刷費	375,000	361,680	13,700部
振込用紙及び印刷費	80,000	73,981	13,451枚
宛名用紙及び印刷費	130,000	118,369	13,451枚
封筒・封入作業費	220,000	207,145	13,451枚
発 送 費	1,200,000	1,116,433	郵便料83円×13,451名
雑 費	1,000	440	振込手数料
記 念 品	773,000	483,200	卒業生記念品代338名分
奨 学 金	400,000	400,000	在校生奨学金
予 備 費	100,000	0	
預 金 振 替	0	3,000,000	定期預金へ
当 期 支 出 合 計	4,049,000	6,313,229	
次 年 度 繰 越 金	9,698,058	7,572,986	
支 出 合 計	13,747,058	13,886,215	

[特別積立金]

(単位:円)

保 管 種 別	本年度末	前年度末
定 期 預 金	10,000,000	7,000,000

2021年度決算報告について

当初予算においては、単年度収支で24万円の収入超過を予定して開始されました。収入は予算に対して13万円増加し、支出は極力経費の節減に努めつつ、定期預金を増額したことにより、予算に対して226万円の増加となりました。

この結果、単年度収支で188万円の支出超過となり、次年度への繰越金は757万円となりました。

1. 収入の部

同窓会費、入会金、雑収入は予算どおりの収受となり、賛助会費は予算比で13万円の増加となりました。

この結果、収入合計では、予算に対して約13万円の増加となりました。

2. 支出の部

予算計上したすべての経常支出大科目において節減努力しました。一方、予算外で定期預金に300万円積み立てることとした結果、予算対比で226万円の支出増となりました。

在校生に対する奨学金支出は、予算どおり40万円を執行しました。

2022年度予算書

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
同 窓 会 費	2,976,300	3,164,700	△ 188,400
入 会 金	420,000	606,000	△ 186,000
賛 助 会 費	500,000	500,000	0
総 会 会 費	0	0	0
寄 付 金	0	0	0
雑 収 入	20,000	20,000	0
当 期 収 入 合 計	3,916,300	4,290,700	△ 374,400
前 年 度 繰 越 金	7,572,986	9,456,358	△ 1,883,372
収 入 合 計	11,489,286	13,747,058	△ 2,257,772

(支出の部)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
総 会 会 費	60,000	0	60,000
行 事 費	60,000	0	60,000
通 信 費	0	0	0
雑 費	0	0	0
会 議 費	55,000	55,000	0
役 員 会 費	30,000	30,000	0
委 員 会 費	5,000	5,000	0
通 信 費	20,000	20,000	0
補 助 費	380,000	370,000	10,000
部・同好会補助	350,000	340,000	10,000
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	0
事 務 費	515,000	345,000	170,000
人 件 費	350,000	180,000	170,000
事 務 消 耗 品 費	25,000	25,000	0
交 際 費	100,000	100,000	0
雑 費	40,000	40,000	0
会 報 費	2,006,000	2,006,000	0
会報「桐」印刷費	375,000	375,000	0
振込用紙及び印刷費	80,000	80,000	0
宛名用紙及び印刷費	130,000	130,000	0
封筒・封入作業費	220,000	220,000	0
発 送 費	1,200,000	1,200,000	0
雑 費	1,000	1,000	0
記 念 品	673,000	773,000	△ 100,000
奨 学 金	400,000	400,000	0
予 備 費	100,000	100,000	0
当 期 支 出 合 計	4,189,000	4,049,000	140,000
次 年 度 繰 越 金	7,300,286	9,698,058	△ 2,397,772
支 出 合 計	11,489,286	13,747,058	△ 2,257,772

〔会計監査報告〕

私たちは、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。

会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

2022年4月23日

会計監査 高澤 隆
会計監査 加藤 明宏

2022年度予算について

2022年度収支予算は、2022年度の事業計画と2021年度の収支実績とを勘案して編成しました。

1. 収入の部

同窓会費は826名、入会金は210名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は前年の実績を勘案して延べ500口を収納予定として予算計上しました。

本年度は、総会を開催しますが、参加費を徴収しないため、総会会費は予算未計上となりました。

2. 支出の部

本年度の事業計画は、①総会の開催、②同窓会だより「桐」の発行、③在校生の部・同好会に対する補助、④卒業記念品の贈呈、⑤在校生に対する奨学金支出等が主なものです。

この結果、次年度への繰越金は730万円を予定し、単年度収支では27万円の支出超過予算となりました。

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

令和3年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の184名の方々です。

★印は新規納入者

ア 青山 正和 秋本 康夫 浅野 進 安達 富夫 安達 博寿 綾部 晴紀 荒川 洋 有我	ウ 内村 正一 梅木 英雄 梅沢 賢治 梅澤 敏明	キ 岸 大将 北根 益巳 木村 義男 帰山 由紀夫	サ 阪上 秀雄 佐藤 元秀 狭山 正則 澤田 允孝	タ 武田 賢治 田中 伸一 田中 俊治 田中 道敏 丹治 誠一	ヒ 廣木 正和 深野 博 福田 泰久 藤井 茂夫 藤兼 英夫 藤野 保磨 藤森 琢磨	モ 森 一平 森本 圭三郎 守谷 義人
イ 飯澤 敏之 飯島 穂 飯田 諭史 飯田 鎮宏 五十嵐 正宏 石崎 友輔 石澤 忠邦 石塚 修 石綿 健二 石渡 博巳 市川 想生 市川 康憲 伊藤 富斎 ★稲垣 敬一郎 ★稲葉 明夫 ★稲葉 孝司 乾 明成 猪瀬 昭男 岩井 宏樹 岩間 高志	エ 遠藤 力 遠藤 尚之	ク★窪田 棕介 桑川 疾風 栗田 幸之助 黒滝 弘 桑原 徳郎	シ 塩原 裕之 柴田 治男 志村 教俊 蕭 欣志 新地 邦和	ツ 角田 公夫	ホ 星野 信男 堀山 勉 ★本多 凌大	ヤ 安井 忍 ★安江 勲 安田 憲二 矢内 敏郎 矢部 あづさ 山口 和男 山口 邦治 ★山口 弘和 山根 健 山本 明秀 山本 大介 山森 敦
カ 柿ノ迫 国夫 加藤 明宏 香取 芳則 ★金子 幸治 ★蕪木 敏夫 神谷 守 川瀬 年茂	コ 河野 大樹 巨海 貢 小島 寿明 小嶋 靖夫 ★清水 和敏 ★後藤 武史 ★後藤 龍男 ★小林 克夫 ★小林 聖武 ★小林 隆政 ★高麗 邦宏 ★小松 原孝春 ★香村 雄史 ★小村 良雄	ク 須賀 雅治 須賀 義則 須賀 法男 鈴木 薫 鈴木 一雄 ★鈴木 茂樹 ★鈴木 智晴 ★鈴木 誠 ★鈴木 正彦 ★鈴木 萌美 ★鈴木 隆一郎	ス 須賀 雅治 須賀 義則 須賀 法男 鈴木 薫 鈴木 一雄 ★鈴木 茂樹 ★鈴木 智晴 ★鈴木 誠 ★鈴木 正彦 ★鈴木 萌美 ★鈴木 隆一郎	ネ 根城 裕典	ミ 三神 和夫 三澤 宏延 三谷 清一 水野 信一 宮田 士仁 ★宮田 健斗	ワ 和久井 和之 渡辺 幸一 渡辺 貴大 渡辺 吉郎
ウ 宇田川 彰	カ 柿ノ迫 国夫 加藤 明宏 香取 芳則 ★金子 幸治 ★蕪木 敏夫 神谷 守 川瀬 年茂	サ 齋藤 進 齋藤 泰之 ★齋藤 凌人 五月 女進一	タ★高澤 隆 高野 昌弘 ★高橋 拓也 ★高橋 弘樹 ★高橋 英夫 ★高橋 進 ★高橋 勇 ★高橋 敬	ハ 橋本 真尚 長谷川 恵子 長谷川 洋一 ★畠中 啓太 ★幡野 明弘 ★原田 和義 ★原田 拓磨	ム 村石 圭樹 村木 開 ★村山 一雄	計184名 (内新規納入者22名)

令和4年度 同窓会委員会の開催について

令和4年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。正副クラスの委員の皆様は、年一回開催の委員会です。卒業年度にかかわらず是非、ご出席ください。

近年卒業の正副委員の皆様には、別途、ハガキでも開催案内をご連絡いたします。

記

- 日 時 令和4年7月16日（土）午後1時～
- 場 所 目黒学院高等学校内 本館1階小会議室
- 議 題 ①役員改選の件
②令和4年度同窓会総会開催の件
〈報告事項〉
①令和3年度決算報告の件
②令和4年度予算の件

賛助会費の納入をよろしく お願いいたします！

賛助会費：一口1,000円

賛助会費は一口1,000円で、口数は任意となっております。お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(注)

1. 納入にあたっては、同封の郵便局用「払込取扱票」をご使用のうえ、お振込みください。
手数料負担は有りません。

2. 以下の銀行口座へのお振込みもご利用出来ます。

三井住友銀行 多摩支店

普通預金 6786789

口座名義 目黒学院高等学校同窓会

- ・お振込みの際には、同封「払込取扱票」の氏名後に記載の会員番号を、振込人名の前に入れて下さい。
- ・振込手数料は、ご負担下さい。